

岐阜信金、脱炭素化支援

三井住友海上
などと提携 C₂O₂排出量を算定

岐阜信用金庫は、三井住友海上火災保険とMS&ADインターステック総研と業務提携を結び、6月1日から取引先企業の脱炭素化に向けた支援業務を始める。同金庫から企業の紹介を受けた両社が、C₂O₂排出量の算定などを行う。

図るのが目的。

支援を希望する企業に対し、電力やガソリンといった各種エネルギーの使用データを基にC₂O₂排出量を算定。脱炭素化達成のために必要なエネルギー削減量の概算も示す。排出削減に関する相談やセミナーも実施する方針。同金庫は「外部機関と連携しながら具体策を提案し、地域企業の脱炭素経営を後押しする」としている。